

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 6 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 【新】森林の集約化モデル地域実証事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111(内4387)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 6,918 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	6,918	6,918	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県の民有林における森林の所有構造は、その多くが小規模・分散の状態にあり、加えて森林所有者の不在村化や世代交代により、所有者や境界が不明となりつつある。

森林の適切な経営管理が効率的かつ持続的に行われるためには、森林を面的に集約化することが必要であるが、十分に進んでいない状況にある。

一方で、地域によっては、森林境界を外縁のみ明確化して契約によって収益を分け合う取り組みや、小規模・分散した森林の集約化を行うことで面的なまとまりをもって所有権の移転を行う取り組み、森林経営管理法に基づく所有者不明森林等の特例措置の活用など、森林集約化の新たなモデルとなりうる模索が各地域の協議会等により行われているところである。

このため、本事業により、こうした地域における森林の集約化のモデル的な取り組み及び実証を支援し、集約化の促進を図る。

(2) 事業内容

地域における森林の集約化を一層促進し、森林整備の推進と計画的・安定的な木材生産を図るため、地域協議会の実施する森林集約化のモデル的な取り組み及び実証について支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 定額、1/2以内

(4) 類似事業の有無

有（森林整備地域活動支援事業費補助金）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	6,918	地域協議会の実施する森林の集約化及び実証に対する支援
合計	6,918	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

2 林業・木材産業の振興

(2) DXの推進による林業・木材産業改革

(イ) 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

(2) 国・他県の状況

林野庁において、R7年度当初予算で新規事業化がされており、各都道府県が活用を予定している。

(3) 後年度の財政負担

令和8年度まで支援を継続予定

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：地域協議会

2) 妥当性：国事業（森林の集約化モデル地域実証事業）に基づくものであり、事業主体として妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☒ 新規要求事業
☐ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域における森林の集約化を促進し、第4期岐阜県森林づくり基本計画終了年度の令和8年度に、間伐実施面積9,600ha、木材生産量65万m³を実現する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①間伐実施面積 (ha)	5,861	5,861	9,600	9,600	9,600	61%
②木材生産量 (千m ³)	599	599	624	638	650	92%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待通りの成果あり
1 : 期待通りの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

森林の集約化が十分に進んでいないことにより、路網開設や森林整備、山地災害発生時の早期復旧に支障をきたす場合がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

森林の集約化の一層の促進に向け、今後も支援を継続する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など